



学校便り 「志々伎の風」

No.13

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年12月21日
 文責
 平戸市立志々伎小学校
 校長 村田 俊郎

【ありがとうございました】

民生児童委員・更生保護女性会・JA 女性会・漁協婦人部・英会話サークル・まちづくり運営協議会の皆様など数多くの方々に支えられて2学期が終わります。本当にありがとうございました。

4カ月間、子どもたちは成長したり停滞したりしながらの連続でした。子どもは未熟な人間です。だから、保護者・地域・学校が力を合わせて育てていく必要があります。

子どもたちの可能性を信じ、指導すべき点は指導し、ほめるべきところはほめ、ふるさと志々伎の未来を担う子どもたちを支えていきましょう。

『家庭の教えで芽を出し、地域の教えで花が咲き、学校の教えで実がなる』

【学習発表会②】



【1年 大きなカブ・夢いっぱい】



【2年 志々伎忍術学園】



【3・4年 日本の音楽めぐり】



【5・6年 平戸不思議発見！】

【もちつき大会】

持久走大会の午後は、毎年恒例の PTA 主催のもちつき大会でした。数多くの保護者の方のご協力で、多くのもちをつき食べることができました。新しい年がすぐそこまで来ているのを感じました。

ALT のブランドン先生も生まれて初めてのもちつきやもちを丸めることに挑戦し大興奮でした。ありがとうございました。

